

平成30年度 学校評価アンケートの結果について

1. 学校自己評価

H30年度学校評価アンケート結果（生徒）

H30年度学校評価アンケート結果（保護者）

H30年度学校評価アンケート結果（教員）

※以上は別シートです。

2. アンケート集計結果概要

評価結果

（注目項目を抽出。昨年度までと、質問内容・アンケート方法・調査時期等、条件が異なるため、単純な過年度比較はできない。）

※「評価」は、昨年度までの類似質問との比較で、◎ = 5ポイント以上向上、○ = 向上 △ = 横ばい～微減

大項目	対象	質問項目	H30	評価
A) 学習	生徒	・授業にまじめに取り組んでいる。	86.4%	◎
		・テスト前は、自ら進んで学習している。	68.0%	◎
		・課題等の提出物は、期限内に出すよう心がけている。	87.9%	◎
	保護者	・私は、馬頭高校の教育活動に関心がある。	77.8%	×
		・家庭では、テスト前など学習に取り組むよう子どもに話をしている。	70.5%	△
B) 特活	生徒	・HRの係や委員会活動に真面目に取り組んでいる。	83.8%	◎
		・部活動に積極的に参加している。	67.8%	△
	保護者	・馬頭高校の部活動は活発であると思う。	66.5%	×
C) 生活	生徒	・服装指導を理解し、守っている。	88.6%	○
		・安易な遅刻や欠席をせずに登校している。	88.2%	○
	保護者	・自分の子どもが遅刻や欠席をする場合は、学校へ連絡をしている。	91.6%	△
D) 進路	生徒	・進路に関する情報は十分に提供されている。	80.5%	○
		・各種検定や資格取得に興味がある。	73.9%	◎
	保護者	・馬頭高校では、生徒一人一人に応じた進路指導が行われている。	79.3%	△
E) その他	生徒	・ふだんから挨拶を心がけている。	86.4%	◎
		・入学して良かったと思う。	76.8%	△
	保護者	・那珂川学は子ども達にとって地域を理解し将来につながる活動だと思う。	81.9%	△
		・馬頭高校に子どもを入学させてよかった。	85.0%	△

3. 概説

A) 学習について

- ・授業への取り組み、提出物など、今年度は高い意識で学習に取り組んでいることのわかる結果となりました。
- ・生徒の結果として、テスト前の勉強はあまり積極的ではないが提出物は出す、という傾向が見られ、「赤点をとらないように」というところに学習の目標が置かれていることが感じられます。もっと積極的な学習姿勢を養う事が課題となります。

B)特別活動について

- ・部活動に関する項目が生徒・保護者共に評価を落としました。部活の加入率が年々下がっており、評価の低下に繋がっています。生徒や職員減の影響が大きく、部活動が精選される中ですので、評価の低下は想定内と考えられます。しかし、アーチェリー・レスリング・水産研究部など、関東大会常連の活躍している部活動もあり、校外に広く宣伝する必要性を感じます。また、生徒の活躍の機会を増やし個性を伸ばせる場を提供できるよう考えていく事が求められます。
- ・一方、学校行事への取り組みの様子は向上しています。学校祭が隔年開催から毎年の開催にもなったこともこの結果の向上につながっているのかと思います。生徒は学校生活に活力を見だしている事がわかる結果となりました。

C)生活について

- ・服装等の学校生活に関する項目では、学年が下がるほど肯定的意見が高く出ています。慣れなどで、上級生ほど甘さがでてしまうようです。

D)進路指導について

- ・進路に関する情報提供が今年度は多く、生徒もそれを受け止めた結果となっています。一方、売り手市場だった今年は、あっさりと就職が決まってしまうケースが多く、その分保護者とのやり取りが減り、保護者側から見ると進路指導の手厚さを感じにくかったかもしれません。
- ・各種資格試験は今年も年間通して行われており、年々興味を持つ生徒が増えています。
- ・水産科の生徒は科の特性上、入学当初より進路に対する意識が非常に高く、同時に学校での学び甲斐も感じているようです。普通科は座学が多く、学び甲斐を体感出来ることが少なく、進路に興味を持つのも遅くなる傾向があるようです。

E)その他

- ・保護者の結果で肯定的意見が最も低かったのは、PTA活動への関心についてでした。そもそもPTA活動自体が正確に周知されていないのではないかとということも、危惧されるところです。
- ・学校のHPに関しては、例年に比べますと高い評価となりました。パソコンとスマートフォンでの閲覧画面に大きな差があるため、スマートフォンでご覧になる方々になかなか評価をいただけないのが現状かと思えます。

4. 課題解決に向けての今後の対策など

- ・学習面では、魅力化予算で、IT関連機器や、1学年教室への液晶テレビ、BDプレーヤー等の機材が導入され、授業の充実化が図られています。また近年、アクティブラーニングといった新しい授業形態も積極的に取り入れられるようになり、各授業とも工夫を凝らして行っています。生徒の授業への関心の高さはそのような事も要因として考えられます。授業改革が行いやすい環境が整いつつあるので、積極的に勇気を持って取り組んでいきたいと思えます。
- ・また、普通科でも水産科の生徒が感じているような、学び甲斐を感じられる授業を目指したいところです。今年度で3年目となる「那珂川学」は、保護者間でも理解が広がりその多岐にわたる活動には評価を頂いています。来年度からは、新しい科目「総合的な探究の時間」とのコラボレーションも企画されています。普通科の生徒も自分の力で課題を見つけ、解決の為の行動を自ら起こすことを目標に、自身の進路にも結びつけていけるようこの科目に期待したいところです。
- ・PTA活動に関しては、タイムリーな広報活動が行えるよう改善し、PTA活動にご参加いただけるようにしたいと考えています。